

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ライズ児童デイサービスやこう幸		
○保護者評価実施期間	令和7年10月1日		～ 令和7年12月29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 31
○従業者評価実施期間	令和7年10月1日		～ 令和7年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	5領域網羅したレクの内容	日々のレクを遂行する中で、5領域での狙いを持って支援している。	スタッフは狙いをもって行っているが、細かな内容が保護者様に伝わっておらず、レクがマンネリ化しているとの声も上がっていた。 なぜ繰り返すのかや狙いなども丁寧に説明していきたい
2	臨機応変な対応	学校、ご自宅共に送迎時間に関しては、要望に沿った送迎が出来るように配慮している。	共働き家庭が増えてきている中で送迎時間遅めの依頼が多くなってきている。可能な限り対応していきたいが、職員負担がかかっている為再度検討が必要。
3	余暇時間の過ごし	事業所内のオペレーションの見直しを行い、余暇時間の過ごし方の充実を図る。遊びの中から育まれるコミュニケーション力や自立度を上げていく。	年間カリキュラムを通して、個別の出来る出来ないを明確化し、出来る為に必要な練習の機会を多く設け、成功体験を積んでもらえるようにサポートしていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所建物の劣化(外観、内観共に)	・支援室を特性に合わせ、日々レイアウトを変える中で、壁紙や遮光フィルムなどが剥がれている箇所が目立つ。 ・ジョイントマットの汚れが目立つ	・月1で清掃日を設け、支援室内の補強を行う。 ・壁紙の剥がれは補強できるものはすぐに補強。 掲示物や工作などで展示する形で見せる。 ジョイントマットの交換については時期を確認し、しかるべき時期に交換を行う。
2	災害時対応についての周知不足	定期的に行っている避難訓練について周知が乏しい。 事業所で行っている内容の共有が保護者様に細かくされず『やってみたい』だけの情報に留まってしまっている。	事業所内にハザードマップを掲示し、訓練時以外にも目に入るようにし、保護者様も面談時などに目に入るように改善。 避難訓練週間の周知方法を改善。内容など細かくわかるように連絡帳や、口頭の引き継ぎで伝えられるようにする。
3	保護者交流や地域情報の共有不足	保護者交流や地域交流の場を求める声が増えてきた。また、小、中、高の学年上りのタイミングで将来の過ごし方を考えている保護者様が多く見受けられるようになった。	鶴見区内で行われる講演会などはHUGシステムから全利用者に周知するよう改善。 利用者様同士の交流は望んでいない方もいるので周知方法は丁寧にを行う。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ライズ児童デイサービスやこう幸

公表日 令和8年3月15日

利用児童数 33名

回収数 31名

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	13	1	0	広さはあるが、建物自体や活動スペースの老朽化が気になります。 最近の様子がわかりません	室内環境の整備として、広さを保てるように極力必要最低限の物のみを配置しております。また児童特性に合わせたスペース作りも行っております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	23	1	0	7		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	10	0	4	室内はバリアフリーだけど、ビルの階段が急。 建物が最近の物ではないが、色々と取り組んでいると思います。	階段昇降に関しては、手すりの使用方法、危険認識を伝え可能な限り職員と一緒に降りる事を心がけております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	8	0	4	年月が経ち、少しですが全体的に汚れが目立つようになってきているように感じます。 建物が最近の物ではないが、色々と取り組んでいると思います。	壁面の汚れや壁紙の剥がれなど早急に改善して参ります。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28	2	0	1	色々と工夫して下さって配慮してくれていると思います。	毎日の活動内容を考え、児童が『やってみたい』と興味をわく内容を考えて参ります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28	1	0	2		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	27	2	0	2		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25	3	0	3		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28	1	0	2		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	6	0	0	平日のプログラムに、もう少し多様性があると嬉しいです。 色々とやって下さっていて、ありがたいです。 お出掛けなど、もう少し増やして欲しいです。	平日の取り組みがマンネリ化してしまっている、固定化しがちな部分に関して、日々職員と『やってみたい』と思えるか？を考えて参ります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	5	4	12	10	交流は希望しておりません。	
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	31	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30	1	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	5	11	9	情報提供や、相談にはのって来ています。	地域で開催されている講習会などは該当児童に向けて発信を行っています。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	31	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	5	3	4	だめな点も、伝えてくれます。	送迎時の短い時間ですが、活動内容をお伝えできるようにしています。保護者様と会えない場合はHUGの連絡ツールを使用し情報共有しております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29	0	0	2		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	2	4	17	8	きょうだい交流希望しておりません。 それぞれで事情もあると思うので、無理には求めません。 そういう機会があればありがたいと思います。	希望される保護者様には、事業所内ではなく地域、関係機関との連携含めてお伝えできるように改善していきます。
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24	2	0	5			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28	1	0	2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	31	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27	1	0	3		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26	1	0	4	色々と、取り組んで下さっています。	月に1回、法人内での研修がございます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	31	0	0	0		年に2回、避難訓練週間を設け、避難場所への避難訓練、水害対策の為の昇降避難の練習を設けています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28	1	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	28	1	0	2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	30	1	0	0	休みの日でも、行きたいと言います。	嬉しいお言葉ありがとうございます。職員のお励みになります。児童が『やってみたい、通いたい』と思って頂ける事業所づくりを目指して参ります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	27	2	0	2	送迎方法や時間の急な変更にも臨機応変に対応して下さっています。	送迎に関して事業所で出来る事は可能な範囲でご協力できればと考えております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	28	3	0	0	ブログだと写っていないこともあるので、可能であればハグに写真を載せてほしい	貴重なご意見ありがとうございます。HUGでの写真掲載については前向きに検討し、またブログでもなるべく多くの児童が掲載できるよう善処いたします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ライズ児童デイサービスやこう幸				公表日	令和8年3月15日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	5	・利用者の成長に伴い支援室が手狭に感じる事がある為、パーティションで仕切りを作り必要な空間作りを行っている。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		8	1	・職員の体調不良などで突発的に職員数が少なくなることがある。	・送迎、支援含め利用者を安全に見られない状況になった場合は、保護者様にも協力してもらい、お迎えやお休みを検討して頂く。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		4	5	・事業所外の階段が急だったり暗かったりする。 ・支援室内は日々空間作りを行っている。	・階段を使用する時のルールを決めて昇降できるように配慮する。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		5	4	・月一清掃日を設けている。 ・活動に合わせた空間の変更を行っている。	・清掃の精度を上げていく。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		9	0	・体調不良時には事務所を使用し別室対応している。 ・クールダウン部屋がないため、支援室内を	・事務所の使用方法を改めて考える。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	・朝礼、昼礼、終礼を必ず行っている。 ・申し送りノートの共有	・工夫している点の継続と口頭での詳細な説明をしていく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・事業所内ミーティングで内容共有している。	・事業所内共有と個々の意見も取り入れながら改善につなげていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・朝礼や終礼にて意見集約している。	・事業所内共有と個々の意見も取り入れながら改善につなげていく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	0		・継続して第三者機関に入ってもらいチェックして頂く、指摘項目については都度改善検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	・正職員は月別研修を行っている。 ・年に数回外部講師の研修もある。	・研修においては必要な時期に必要な人材が研修を受講できるよう考えています。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	2	・非常勤職員さんの意見が反映されにくい環境ではある。	・多くの職員さんの意見が聞けるように、意見を反映できるようにしていく。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	2		・計画書の共有、内容の口頭伝達などで計画ある支援が出来るようにしていく。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	・アセスメントシートを活用している。	・継続してアセスメントシートの活用をしていく。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	1			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	・月一の職員ミーティングで話し合い決めている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	・月一の職員ミーティングで話し合い決めている。	・職員ミーティングの継続と時期に合わせた注意事項などを含めて話し合いを検討	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	3	・日々のオペレーションの中で個別活動時間、集団活動時間を設けている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	・朝礼にて共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	・終礼にて共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	・HUGでのケア記録と、申し送りノートを共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	・半年に1回の面談にて見直し、共有している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	9	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	・レクの中での役割分担を決めている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	3	・管理者が参加しております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	・必要であればケース会を開催し、管理者が参加している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	学校からのお知らせや、保護者様から頂く月間予定などを確認しながらミスのないように務めております。	・朝礼時のダブルチェックを行っている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	9	・就学前の関連機関とは連携が取れていない。 ・保護者様から聞くアセスメントで情報収集	必要があれば、担当者が参加させていただきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	9	取れていない。 ・相談支援員さんが入っている利用者に関り、支援内容が引き継がれる。	必要があれば、担当者が参加させていただきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	2	・必要であればケース会を参加し管理者が参加している。	必要があれば、担当者が参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	9	・事業所内での他児童との関りがメイン。	・保護者様からも交流を求める声がない事もあり、今は事業所内でのかわりをメインとしています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9	0	・管理者が参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	・送迎時に伝達している・	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	9	・保護者向けのイベントや講演会などがあれば共有している。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	・契約時に管理者が行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	・契約時、モニタリング時期などに家族の意見は取り入れられている。 ・本人の意思決定については難しい。	・本人の意思決定については、個々の特性もあるので難しいが自己発信出来る場面を増やしていけるよう努力します。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	・緊急性があればモニタリング時期以外でも電話や面談にて対応している。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	9	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会は開催していない。 ・保護者様からそのニーズがない。 	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜対応している。 	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞を作り月一で発行している。 	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	5	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣のスーパーに買い物に出かけている。 ・事業所から地域住民を受け入れる事はしていない。 	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0		<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルの周知、保護者様への周知を行っています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・年に2回避難訓練週間を行っている。 	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントシートにて確認している。 	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の指示書はないが、保護者からの留意ポイントは確認している。 	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・避難経路について保護者様に説明している。 	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日報告、検討している。 	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0		2カ月に1回、事業所内研修、半年に1回虐待防止委員会を開催。内容を職員に共有している。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0			